

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	環境ライフスタイル普及小委員会	主 査 名：齊藤 雅也 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：野城 智也
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>環境建築の環境負荷の低減を実現するためには、その建築において、それに相応しいライフスタイルを実践し、「使いこなす」または「住みこなす」ことが求められる。本小委員会では、それを「環境ライフスタイル」と称し、その実践のための教育体系の構築と普及手法の検討、そのための連携構築を目的とする。これまでの成果をまとめた環境ライフスタイルに関する教材を用いて、建築教育や学校教育に広く還元できる仕組みを模索する。</p> <p>初年度：①環境ライフスタイル普及のための講習会等の開催、②環境ライフスタイルに関する実践事例の収集・分析 2 年度：①環境ライフスタイル普及のための講習会等の開催、②環境ライフスタイルに関する実践事例の収集・分析、③住環境教育等の効果検討</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：齊藤雅也 (札幌市立大学) 幹事：廣瀬 和徳 (教育環境研究所)、田中稲子 (横浜国立大学) 委員：宿谷 昌則 (東京都市大学)、篠節子 (篠計画工房)、菅原正則 (宮城教育大学)、妹尾理子 (文教大学)、高橋達 (東海大学)、谷口新 (大妻女子大学短期学部)、中島裕輔 (工学院大学)、西川竜二 (秋田大学)、平石年弘 (明石工業高等専門学校)、村田昌樹 (OM ソーラー)、吉野泰子 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	『季節を味わう住みこなし術 －「ちょいケア」で心地よいライフスタイルに大変身！－』(技報堂出版、2022.9)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刊行物を 2022 年 9 月に出版できた。 2. 委員からの環境ライフスタイルに関する以下の実践事例報告を踏まえ、小委員会内部で協議を行い、課題等を共有した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 親子の都市と建築講座 2022+ 秋田県立大学夏休み科学教室「リモート『スマハキッ』でスマートハウスの実力を体感しよう」(8/29 Zoom:宮城教育大学・秋田県立大学・秋田大学・小学生 2 名) 2) サイエンスデイ 2022「自然のチカラで涼しくなる クールエアドーム体験」(7/17 東北大学川内北キャンパス・未就学児～大人:280 名) 3) 秦野市高齢者支援センター3 拠点(鶴巻・大根・本町)との協働による熱中症予防のための住まい方支援活動(8/3～9/9 支援先高齢者住戸:7件) 4) 出前講座「夏の涼しい住まい講座／冬の暖かい住まい講座」(7/30 左近山地域ケアプラザ利用者 15 名, 12/17 横浜市旭区・左近山団地住民:9 名) 5) 総合学習支援「避難所で寒さをしのぎ快適なシェルターを試して考えよう！」(3/9, 参加者: 中学 3 年生約 40 名、東京都杉並区高円寺学園)【予定】 6) 環境学習授業「省エネルギーと快適環境」(7/14 品川区立立会小学校 4 年生 99 名, 7/14 品川区立第二延山小学校 4 年生:115 名) 7) 環境学習授業「太陽光発電と冬の室内環境」(11/24 品川区立立会小学校 4 年生:99 名, 12/15 品川区立第二延山小学校 4 年生:115 名) 8) 「地球のたまご」における環境学習(5/20 静岡県清水町立南中学校 2 年生:34 名, 8/2 浜松市教員理科研修会:72 名, 9/11 浜松市環境学習指導者養成講座(一般):17 名, 9/28 三重県松阪市立鎌田中学校 3 年生:33 名, 10/12 浜松市立村櫛小学校 5 年生:25 名, 11/4 浜松市立曳馬小学校 5 年生:106 名, 11/29 浜松市立尾奈小学校 4～6 年生:28 名, 1/18 聖隷クリストファー小学校 6 年生:25 名) 9) 「住まい方を考える本 住まいの機能と快適・安全でエコな生活」(妹尾監修, あかね書房) 10) 子ども大学こしがや・まつぶし講師「住まいの知恵や工夫を探ってみよう！」(12/17 小学 4～6 年生:34 人)
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出版後の環境ライフスタイル普及のための講習会等の企画・開催 2. 新たな委員の追加による専門性や活動フィールドの拡充と、次世代を考慮した環境ライフスタイルとその普及のあり方の検討